

『一生懸命頑張ろう』

長崎ラグビースクール

校長 本多 守

本スクールは、原則として毎週土、日曜日の午前中に各学年毎に別れ、約二時間練習している。専用グラウンドを持たないため、練習場所は一定していない。グラウンドを探し求めながらジブシーで練習をしているので、前日まで練習場所が決定しない時もある。

このような状況での練習になるので自然と練習時間も限られて来る。コーチ陣は、月間のスケジュールにあわせ、練習内容を工夫し、タイムテーブルを組む。如何にして練習場所を確保するか頭の痛い問題がつかまとう。

試合をして負けてばかりでは、興味が半減し、戦意が阻がれる。生徒たちが喜んで伸び伸びと率先して楕円形のボールを追いかける環境作りも大切になる。全日本女子ソフトボールのエース上野由岐子選手は、「強い弱いは執念の差」といいきる。勝ちたいという気持ちを厳しい練習に打ち勝つことから考えた言葉だと思う。

ボールを持って走るだけでは、身体的にも、技術的にも、精神的にも上達はのぞめない。各自が上達しようとするならば、日々の生活を振り省り、時間を無駄にしない生活から始まると思う。

グラウンドでは、コーチの指導をよく聞き、集中して練習に取り組む気構えを忘れてはならない。

スクール会報にもあるように、日常生活の基本の遵守が全てだと考える。どんな小さなことでも全うする気持ちを持続し、人間的成長を目指して欲しい。

こうした気持ちをお互いが共有しながら、三年後の創設五〇周年を迎えられるように一生懸命頑張ろう。

「努力はうそをつかない。結果は必ずついて来る。」本年度も、生徒、父兄、コーチ一丸となって努力する所存ですので、今まで以上の御指導、御協力をお願いいたします。

平成30年4月吉日